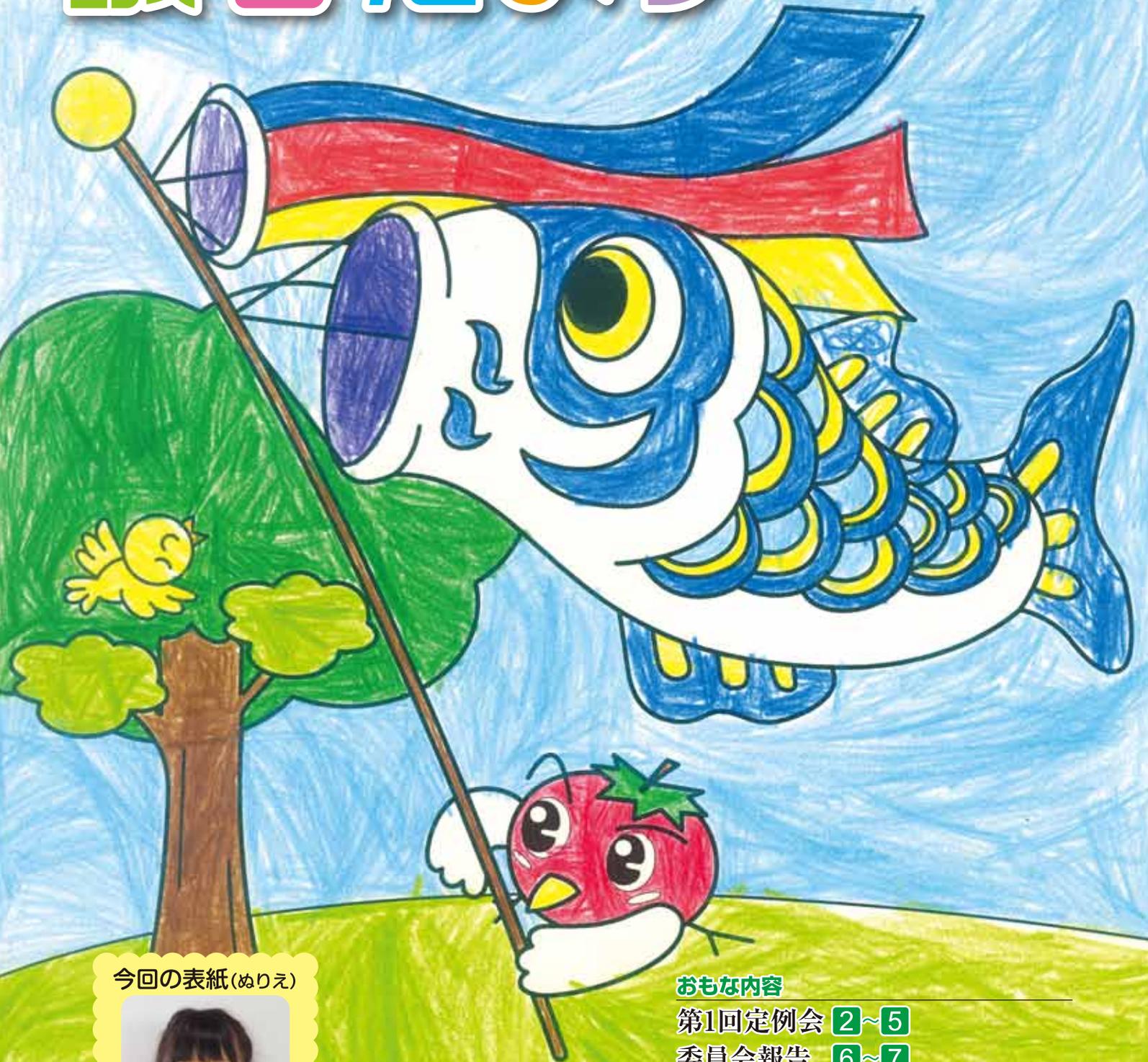


# きそさき 議会だより

VOL. **75**  
2013  
平成25年5月1日発行



今回の表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園  
いとうりなさん  
の作品

## おもな内容

- 第1回定例会 **2~5**
- 委員会報告 **6~7**
- ここか聞きたい【一般質問】 **8~11**
- 行政報告 **12~13**
- 子ども模擬議会 **14~15**
- 議会日誌 **16**
- 議員トピックス **17**



平成25年

## 第1回

# 木曾岬町議会

## 定例会

第1回木曾岬町議会定例会は、3月5日から19日までの15日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、平成24年度の各会計補正予算案ならびに平成25年度の当初予算案、条例制定案、条例改正案、協議案など合わせて町長提出議案40件と同意案1件が審議されました。

5日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告と町長提出議案39件の提案理由説明を受け、総括的な質疑の後に、各議案を常任委員会に付託して審議することを決定しました。次に同意案1件を審議し、原案のとおり同意することを決定し散会しました。

11日、12日にはそれぞれ常任委員会が開催され、付託された議案の審議が行われました。(6・7ページ参照)

15日には一般質問が行われ、3名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照) また、一般質問の後に、付託された議案の審議結果を各常任委員長が報告し、その質疑が行われ散会しました。

最終日の19日には、町長提出議案39件を一括上程し、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決されました。次に追加議案1件を上程し、質疑・討論・採決を行い原案のとおり可決されました。また、最後に発議案3件が提出され、原案のとおり可決し第1回定例会を閉会しました。

## 議事内容

### 可決した議案

#### ◎執行部提案

議案件名(議案の内容)

■議案第1号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第5号)について

※既決予算額に、歳入歳出それぞれ98,000千円を追加し、予算総額を288,000千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・農業水利施設合理化保全事業への計画策定業務の追加。
- ・外平喜地内と小林地内の橋梁2ヶ所の修繕および耐震補強工事の施工。

■議案第2号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

※既決予算額に、歳入歳出それぞれ36,154千円を追加し、予算総額を916,033千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・保険料と高額医療費共同事業交付金などの確定による増額。

■議案第3号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

※既決予算額から、歳入歳出それぞれ788千円を減額し、予算総額を88,074千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・保険料と広域連合納付金などの確定による減額。

■議案第4号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額から、歳入歳出それぞれ6,267千円を減額し、予算総額を346,502千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・居宅介護サービス、介護予防サービスの精査による減額。

■議案第5号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額に、歳入歳出それぞれ1,892千円を追加し、予算総額を5,200千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・町道雁ヶ地、福崎線道路用地の売却による増額。

議案件名(議案の内容)

■議案第6号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額から、歳入歳出それぞれ1,000千円を減額し、予算総額を96,000千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・下水道施設の運営・維持管理費の精査による減額。

■議案第7号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額から、歳入歳出それぞれ1,500千円を減額し、予算総額を256,000千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・下水道施設の運営・維持管理費の精査による減額。

■議案第8号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算(第1号)について

※収益的収支の、収入予定額を9,231千円減額し197,646千円、支出予定額を11,154千円減額し211,453千円とし、資本的収支の、支出予定額を2,774千円減額し9,644千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

(収益的収支)

- ・干拓地への配水管布設工事の完了による減額。
- ・量水器取替工事の完了による減額。
- ・上水道変更認可業務の完了による減額。
- ・(資本的収支)
- ・量水器購入の完了による減額。

■議案第9号 木曾岬町暴力団排除条例の一部改正について

※暴力団による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴い、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第10号 町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

※町長の今任期に係る退職金の半額相当を減額するにあたり、任期中に減額した額が今任期に係る退職金の半額相当に満たないときは、平成25年6月に支給する期末手当から減じようとする。ことから、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第11号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について

※地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律が平成24年6月27日に公布され、地方公務員災害補償法の改正が行われたため、本条例の一部改正を行うものです。

議件名（議案の内容）

議案第12号 木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

※地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律が平成24年6月27日に公布され、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正が行われたため、本条例の一部改正を行うものです。

議案第13号 木曾岬町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について

※地域主権一括法による土地改良法の改正に伴い、本条例の一部改正を行うものです。

議案第14号 木曾岬町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

※地域主権一括法による道路法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第15号 木曾岬町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について

※地域主権一括法による道路法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第16号 木曾岬町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の制定について

※地域主権一括法による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第17号 木曾岬町営住宅管理条例の制定について

※地域主権一括法による公営住宅法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第18号 木曾岬町営住宅等の整備基準を定める条例の制定について

※地域主権一括法による公営住宅法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第19号 木曾岬町都市公園条例の一部改正について

※地域主権一括法による都市公園法の改正に伴い、都市公園の配置および規模に関する技術的基準を定めるため、本条例の一部改正を行うものです。

議案第20号 木曾岬町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について

※地域主権一括法による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第21号 木曾岬町公共下水道条例の一部改正について

※地域主権一括法による下水道法の改正に伴い、公共下水道の構造の技術上の基準ならびに終末処理場の維持管理に関する基準を定めるため、本条例の一部改正を行うものです。

議件名（議案の内容）

議案第22号 木曾岬町下水道事業運営委員会条例の一部改正について

※委員の構成を変更しようとするため、本条例の一部改正を行うものです。

議案第23号 木曾岬町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

※木曾岬町の行政区域となった木曾岬干拓地に、三重県の「わんぱく原っぱ」が建設・供用されることから給水区域の拡張が必要となり、給水人口、給水量的の見直しを行うため、本条例の一部改正を行うものです。

議案第24号 木曾岬町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について

※地域主権一括法による地方公営企業法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第25号 木曾岬町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について

※地域主権一括法による水道法の改正に伴い、本条例を制定するものです。

議案第26号 木曾岬町給水条例の一部改正について

※水道法施行令の改正に伴い、本条例の一部改正を行うものです。

議案第27号 木曾岬町公営企業運営に関する条例の一部改正について

※委員の構成を変更しようとするため、本条例の一部改正を行うものです。

議案第28号 木曾岬町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

※地域自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律において介護保険法の一部が改正されたことに伴い、本条例を制定するものです。

議案第29号 木曾岬町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

※地域自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律において介護保険法の一部が改正されたことに伴い、本条例を制定するものです。

議案第30号 三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議について

※平成25年4月1日から伊賀市を加えることおよび規約の字句整理をすることにより規約を変更することについて協議を行うものです。

議件名(議案の内容)

議案第31号 桑名障害者介護給付費等の支給に関する審査会共同設置規約の一部変更に関する協議について

※障害者自立支援法の一部改正に伴い、規約を変更することについて協議を行うものです。

議案第32号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計予算について

※歳入歳出の予算総額を2,533,000千円と定める予算です。

前年度対比 245,000千円の減額予算です。

○今回の予算内容は、町長・町議会議員の改選期により、骨格予算として編成されたため減額ですが、主な事業は次のとおりです。

- ・防災行政無線デジタル化更新事業
- ・県営湛水防除事業計画策定業務
- ・町道雁ヶ地福崎線用地買収費

議案第33号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を889,000千円と定める予算です。

前年度対比 90,000千円の増額予算です。

○心臓疾患や高次脳機能障害などによる高度治療の受診により医療費の増加が増額の主な要因です。

議案第34号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を86,800千円と定める予算です。

前年度対比 800千円の増額予算です。

○医療費の高騰が増額の主な要因です。

議案第35号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を350,200千円と定める予算です。

前年度対比 14,700千円の増額予算です。

○居宅介護サービス、介護予防サービス利用者の増加が増額の主な要因です。

議案第36号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を3,300千円と定める予算です。

前年度対比 同額予算です。

議案第37号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を96,000千円と定める予算です。

前年度対比 同額予算です。

議件名(議案の内容)

議案第38号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計予算について

※歳入歳出の予算総額を258,000千円と定める予算です。

議案第39号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計予算について

※収益的収支の収入予定額を174,323千円、支出予定額を191,690千円とし、資本的収支の収入予定額を3,633千円、支出予定額を8,806千円と定める予算です。

議案第40号 木曾岬町農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例の廃止について

※農業委員会の委員を推薦する団体は、上位法令である農業委員会等に関する法律で定められており、改めて町の条例で定める必要がないことから廃止をするものです。

人事案件

議件名(議案の内容)

同意第1号 木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

※木曾岬町固定資産評価審査委員会委員(1名)の任期が、平成25年6月18日で任期満了となり、新たに選任をしようとする事から、議会の同意を求めます。

可決した議案

議員提案

議件名(議案の内容)

発議第1号 木曾岬町議会委員会条例の一部改正について

※地方自治法の改正により、委員の選任などに関する事項が、条例に委任されたことに伴い、本条例の一部改正を行うものです。

発議第2号 木曾岬町議会会議規則の一部改正について

※地方自治法の改正により、本会議においても、公聴会の開催や参考人の誘致ができることとされたことに伴い、本会議規則の一部改正を行うものです。

発議第3号 木曾岬町議会公印規程の制定について

※議会で使用している印鑑について、文書の真正を認証するため、本規程を制定するものです。

# 教育民生 常任委員会

3月11日 午前9時から開催



伊藤律雄 委員長

教育民生常任委員会が付託を受けた案件は、議案第1号の所管部分、議案第2号から議案第4号、議案第28号および議案第29号、議案第31号、議案第32号の所管部分、議案第33号から議案第35号の全11議案(補正予算案4件、条例制定案2件、協議案1件、当初予算案4件)で、委員5名出席のもと審議を行いました。

● 質疑では、多くの質疑が繰り広げられましたが、今回は平成25年度一般会計当初予算に関する質疑の内容を重点にご紹介します。

## 歳出の民生費関係の 質問

では、「社会福祉施設費における一般職を3名から5名と増員した理由は何か」との質疑があり、**回答**として「前年度予算には、退職者1名と、産休職員が算定されていたにもかかわらずによります」との回答がありました。次の**質問**では、「保育所について1名増とのことだが、保育士職員の今後の方針、管理はどういう計画ですか」との質疑があり、**回答**として「園児数によって職員の配置する人数が決まっており、平成25年度の入園申し込みによりますと、正規職員のほか実質補助員は13名必要となります」との回答がありました。また、関連した**質問**では、「補助員が多いことに対して、保護者

の方より不満は出てきていないのか」との質疑があり、**回答**として「今のところは聞いておりません」との回答がありました。**衛生費関係の質問**では、「予防接種委託料について、接種率が低いので昨年に比べて減額とのことだが、国保の医療費が伸びてきている中で、今以上に周知をはかっていくべきではないか」との質疑があり、**回答**として「昨年からの新規事業であり、最大の接種が年4回であったことから最大限の予算を見込んでいたが、実際は1回で終えた実態もあつたことが減額の要因であります。なお、周知については、幼児については接種時期があるので個別に周知をはかっている」との回答がありました。次



小学校コンピューター室

の**質問**では、「ごみ減量化設備購入補助金について、利用者も少ないのであれば、他の方法を検討するとか、事業を打ち切りしてはどうか」との質疑があり、**回答**として「減量化施策として取組んでいることから、現状の補助金を維持しながら、新たな減量化の取組みも検討していきたい」との回答がありました。

**教育費関係の質問**では、「小学校と中学校にコンピューター機器借上料が計上されているが何台分で、リースなのか」との質疑があり、**回答**として「小中学校にそれぞれ40台のパソコンを配置し、5年間のリースで毎年予算計上している」との回答がありました。関連した**質問**では、「リース料が高額であり、借り受けだとメンテは無いと思うので、次回から検討していただきたい」との質疑があり、**回答**として「機器単体であれば、当然のことと思いますが、これに加わるソフト、サーバー、ホストの関係も含めておりますので、更新時期に検討させていただきます」との回答がありました。

れば、当然のことと思いますが、これに加わるソフト、サーバー、ホストの関係も含めておりますので、更新時期に検討させていただきます」との回答がありました。

# 総務建設 常任委員会

3月12日 午前9時から開催



伊藤民男 委員長

総務建設常任委員会が付託を受けた案件は、議案第1号の所管部分、議案第5号から議案第8号、議案第9号から議案第27号、議案第30号、議案第32号の所管部分、議案第36号から議案第39号の全30議案(補正予算案5件、条例制定案および改正案19件、協議案1件、当初予算案5件)で、委員5名出席のもと審議を行いました。

● 質疑では、多くの質疑が繰り広げられましたが、今回は平成25年度一般会計当初予算に関する質疑の主な内容を紹介します。

### 歳出の総務費関係の 質問

では、「高度情報処理委託料については、各課で予算計上しているが、どのように入札をされるのか」との質疑があり、**回答**として「各課で予算化しているが、年度始めに全ての業務の委託交渉を総務企画課で一括して行い、年間の業務委託費を決定しております」との回答がありました。

### 次の 質問

では、「自主運行バスの事業費として、前年度より増額となっているが、理由は何か」との質疑があり、

**回答**として「委託料が増額となっているが、燃料費の高騰によるものと思われます」との回答がありました。

次の **質問**では、「土地改良区総代選挙が新たに計上されているが、詳細な説明を」との質

疑があり、**回答**として「選挙の執行経費を予算化しておりますが、その経費について

は土地改良区に負担していただきます」との回答がありました。

### 農林水産業費関係の 質問

では、「生産調整で今年も麦作を付けているが、枯れている所もあり、昨年から今年にかけて、どのような指導をし



自主運行バス

てきたのか」との質疑があり、**回答**として「県の方に指導をいただき圃場の土の分析をしていただいているような措置は進めさせていただいてます」との回答がありました。

### 商工費関係の 質問

では、「桜堤防の管理のことですが、町道部分については、町で維持管理をしていただくことはできないか」との質疑があり、

**回答**として「全体的な町道の清掃業務の時期を桜の葉が落ちた後に施行できないか調整しております」との回答がありました。

**質問**では、「防災センターの用地買収について、詳細な説明を」との質疑があり、

**回答**として「事業区域内にある町道を、河川事業で買い上げていただき、新たに町道敷として買戻しをして整備しようとするものです」との回答がありました。

11人が  
聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、  
議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、  
一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表で  
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 3名の議員が質問

↑シ数 9 — 8番議席 伊藤 正議員

- 海南病院助成金の効果は？
- 水環境整備事業について

↑シ数 10 — 1番議席 三輪一雅議員

- 国の政権交代による当町への今後の影響は？
- 国民健康保険・介護保険の今後の状況について

↑シ数 11 — 9番議席 中村富男議員

- 交通安全対策について
- 河川防災ステーションについて

Q&A



一般質問



8番議席 伊藤 正 議員

## 海南病院助成金の効果は？

### 救急センターの整備予定

町長



**質問**

当町は平成36年度まで、毎年、海南病院へ715万円を助成しています。救急車から当町の患者を海南病院へ電話をしても診てもらえず、時間的な事から60才代男性の悲劇もお聞きしています。

県消防本部発表によれば、救急車の出勤回数の増加は、高齢者による利用増と分析されていますが、当町も高齢者が増加するなか緊急患者の受け入れ体制は、完全になるよう要望されていますか。

**答弁**

海南病院の応需対応については、運営協力委員会で各市町村から同様の意見が出ております。救急部門の整備については、病院も応需という実態を重く受け止めており、一連の施設整備のなかで、平成25年9月には救急専用病棟20床を含む救急センターが整備される予定と、お聞きしています。

救急車の受け入れ体制は、年間5,000台〜8,000台を想定して建築されると聞いています。この救急センターは完成と同時に海部医療圏にはなかつた救命救急センターの指定を受けられる予定であるとも聞いております。

この地域に設置されることは、地域住民の安全、安心な医療を提供していただけるとに繋がるものと考えます。

## 水環境整備事業について

### 効果が高まるような対策を検討していく

町長

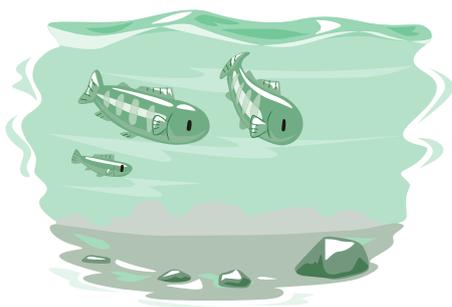
**質問**

外平喜・加路戸地区において水質浄化を進めるために、パイプラインを施工されていますが、この事業は10年も前から繰り返して水質浄化実験をされてきましたが、これといった結果も得られていません。充分な調査・検討もされないままに事業を進めていかれるのは、いかがなものでしょうか。また、目標とされる魚が見えるような結果は得られるのでしょうか。

**答弁**

中央幹線排水路内の浄化については、これまで希釈水や覆砂による対策などを検討してきましたが、費用対効果を考えて有効的な対策とはいえません。しかし、排水機場のポンプ運転による水位低下を繰り返すことで一定の効果が得られること

が分かってきました。今後、発生源対策の供用開始と合わせ、より効果が高まるような対策を検討していきます。また、中央幹線排水路における水質の目標は、「見た目を美しくすること」「悪臭を放たないようにつくこと」として進めているところです。



# 国の政権交代による当町への今後の影響は？

新たな国の施策を積極的に取り入れていきます ——— 町長



1番議席 **三輪一雅** 議員

## 質問

昨年12月、国政は民主党より自民党へ移りました。新政権の総理となった安部総理は、特に経済面において大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を基本方針とし、さまざまな施策を打ち始めています。そして、20兆円規模の緊急経済対策で公共事業投資を決めたところで、公共事業に関しては賛否があります。予算がある以上、当町でもしっかり把握をして戦略的に利用していく必要があると考えます。そこで、これらの予算を含めた新政権による当町への影響として、どのようなことが考えられますか。想定のな部分と実務的な面でお伺いします。



## 答弁

現在、防災対策の命であるインフラ総点検、道路・橋梁などの老朽化・耐震化対策の補助金、地域活性化施策の元金臨時交付金などを受けるために、補正予算に取り組んでおります。最近では地方の自主性に重視した施策が打ち出されてくることもあり、柔軟な発想で事業計画を考えて

いきます。

現在、町の第5次総合計画を策定中であり、この計画に沿って国の施策と合致する部分などを時代の変化に合わせて対応していきたいと考えております。現在計画中の施策に関しては、前倒しが可能な部分は積極的に実行していきます。

## 答弁

ご指摘のとおり医療費においては、当初予算を大きく上回る予算額を計上することとなりました。医療費の増加は当町だけではなく、全国的な問題となっております。施策としては、保険事業の強化に取り組み、病気の早期発見、早期治療を目標とした医療費の適正化に取り組みます。また、現在もさまざまな病気予防施策や健康づくりの施策に取り組んでいます。

# 国民健康保険・介護保険の今後の状況について伺いたい

生きがいづくり、元気づくりを柱に保険・福祉行政の推進をはかっていきたい

町長

## 質問

昨年12月の定例会において、国民健康保険事業、介護保険事業の補正予算が組まれ、認めるところとなりました。国保においては4千万円を超える大規模な補正となりました。木曾岬町は被保険者数が少ないため、医療費の増大は保険事業の運営に影響が出やすいのは承知しています。

そんな中で、今後高齢者が増えていくことは想定されていますし、健康づくりは特に重要と考えます。今後それらに対応していく新たな施策などは検討されていますか。



# 一般質問



9番議席 **中村富男** 議員



児童の通学状況

## 交通安全対策について

関係機関が協働で創り上げていく——町長

**質問**

昨年4月に京都府で発生した事故を始め、相次いで登下校時の児童生徒が巻き込まれる悲惨な交通事故が起きております。

町では、平素より交通安全協会の方々と交通安全対策について協議をされていると思いますが、今後どのような

ような対策を計画されているのか、お伺いします。

**答弁**

木曾岬町では、これまで計画的に歩道の整備や安全施設、防護柵などの整備を進めてきましたが、これらの事故を契機に通学路の点検を行い、危険箇所洗い出しを行いました。

確認された危険箇所は、桑名警察署や三重県の担当者などと現地調査し、直ちに対処できるものについては整備を行い、改修工事が必要なものは順次計画的に整備を進めてまいります。

きたいと考えております。

今後も、安全・安心な通学路の交通環境を、学校や教育委員会のみでなく、道路管理者や警察署、保護者や地域住民など関係機関が協働で創り上げていく必要があると考えます。

## 河川防災ステーションについて

平成27年度末、整備完了予定

町長

**質問**

安全、安心なまちづくりに向け、町にとって不可欠な事業であり、この事業の施設整備を平成25年度から3ヶ年計画で行われると、お聞きしておりますが、計画どおり実施されるのか、現在の進捗状況なり今後の計画についてお伺いします。

**答弁**

この事業における、これまでの進捗状況を申し上げますと、平成23年11月に松永地区や地権者の方々に、町で建設する避難所の機能を備えた水防センターの計画もあわせ説明会を開催し、その後、用地境界立会の説明会、また、事業計画変更により見直しされた工事概要の説明を行ってまいりました。

今後の予定としては、平成25年度には用地補償の手続きを進め、平成26年度

には地盤改良と盛土工事、平成27年度には盛土と舗装などの場内工事とお聞きしております。なお、町で建設します水防センターについては、盛土工事の状態にもよりますが、平成27年度末までには施設整備を完了していきたいと考えているところです。

**再質問**

避難所も同時にこのことですが、どのような計画ですかお伺いします。

**再答弁**

河川防災ステーションに併設する水防センターは、水防活動の拠点となるもので、建物自体は2階建てですが、置上を避難できるような地域の避難場所として活用していきたいと考えております。

総務企画課長

# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

今年の冬は各地で豪雪に襲われ、犠牲者が出るなど、厳しい寒さが続いておりますが、ようやくこのところ日差しが和らぎ、春が近づいてきた感じがします。

本日は、平成25年第1回町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆さまにはご参集賜りまして、まことに有難うございます。

今年度の行政報告をさせていただきます。

まず最初に、「県と市町の地域づくり連携・協働協議会について」でございますが、このたび、桑名県民センター管内の2市2町の首長と知事との「サミット

今年度の冬は各地で豪雪に襲われ、犠牲者が出るなど、厳しい寒さが続いておりますが、ようやくこのところ日差しが和らぎ、春が近づいてきた感じがします。

今年度の行政報告をさせていただきます。

まず最初に、「県と市町の地域づくり連携・協働協議会について」でございますが、このたび、桑名県民センター管内の2市2町の首長と知事との「サミット

今年度の冬は各地で豪雪に襲われ、犠牲者が出るなど、厳しい寒さが続いておりますが、ようやくこのところ日差しが和らぎ、春が近づいてきた感じがします。

今年度の行政報告をさせていただきます。

まず最初に、「県と市町の地域づくり連携・協働協議会について」でございますが、このたび、桑名県民センター管内の2市2町の首長と知事との「サミット

研究会」を昨年12月に設置しております。

木曾岬干拓地でのメガソーラー事業においても、この研究会を立ち上げ、中央大学総合政策部教授を座長に、三重県雇用経済部のエネルギー政策課、地域連携部の水資源・地域プロジェクト課と桑名市、木曾岬町の担当部局に(株)丸紅電力・インフラ部門国内電力プロジェクト部の担当部局が入り、「木曾岬メガソーラー」の地域活性化研究会を、さる2月18日に設立し、メガソーラー事業における地域活性化について調査研究し検討していくことになりましたので、報告します。

次に、「木曾岬町の道路整備の状況について」でございますが、主要幹線の国道23号が町の中央部を東西に横断しており、その他の道路網は木曾川の存在により全てを愛知県側に委ねています。また、町の南北方向の交通は、木曾川の分流

である鍋田川の河川堤防である町道鍋田川線が利用され、国道1号と国道23号を短距離で結ぶことや名古屋臨海部に向かう通勤者や資材運搬車両などで大変な交通量となり、町道が脆弱な道路構造であることから沿道での騒音や振動被害、舗装の著しい損傷とその補修費用が大きな行政課題となっております。

この現状に鑑み、平成25年1月29日愛知県 海部建設事務所 浅野所長に、三重県の県土整備部道路企画課長と桑名建設事務所長の同行のうえ、面談を実施しました。内容として、木曾川に面し上記の環境下にある木曾岬町においては、広域幹線である名古屋第3環状線の存在は大きく、木曾岬町の道路網整備は、この広域幹線を念頭に計画を立てていますので、地域の交通課題の改善と地域振興のため、強力に事業を推進されることを要望しました。

また、今後の愛知県名古屋第3環状線の計画協議についても、町道との取付など詳細な打ち合わせをお願いし、合わせて木曾岬干拓地と愛知県側とのアクセス道路について要望いたして参りました。

次に、4点目として町の防災・減災の最重要課題である木曾川堤防の耐震化と河川防災ステーションの要望活動についてですが、政権の交代を機に、政府はこれまでの日本経済の現状に鑑み、長引いた円高・デフレ不況による国民総生産の低迷や貿易赤字の拡大、雇用の縮小、さらに景気の底割れから脱却するために、「日本経済を大胆に再生させなければならぬ」とし、「強い経済」を取り戻すことに全力で取り組むとの姿勢が明確に示されました。展開は「日本経済再生に向けた緊急経済対策」の具体的施策として、大胆な金融政策、機動的な財政政策、

民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を、一体的かつ強力に実行することとし、「復興・防災対策」成長による富の創出、「暮らしの安全・地域の活性化」の3分野を政策の重点パッケージとしています。

事前防災、減災対策の事業規模は3.8兆円とも言われ、この度の町の一般会計の補正予算の農林水産業費に新たに計上した農業水利施設保全事業では、今のパイプラインなどの水利施設の更新計画策定や排水機場の耐震化を調べる事業として、土木費では道路ストックの総点検と修繕事業に、橋梁の保全計画と耐震の調査、改修工事を事業化しました。また、木曾岬町の防災事業では木曾川堤防の対策が最も重要で、これまでは伊勢湾台風に対する高潮対策の整備が進められてきましたが、東日本大震災の被災状況や南海トラフの津波予想などから木曾川堤防の耐

震化が必要と考え、2月6日には中部地方整備局長に、12日には国土交通省の水管理・国土保全局長に面談をお願いし、木曾岬町が輪中地帯であることや過去に大災害の歴史があること、懸念される震災被害では甚大な発生リスクがあることを申し上げ、現在国道23号の取付け付近で行われている堤防の耐震化の工事を、全線にわたり実施されるよう強くお願いしたところでございます。

また、事業の進む河川防災ステーションにつきましても、町としては、水防センターを一年でも早く建設する必要がある、事業のさらなる推進を要望しました。なお、要望活動は国土交通省の局長の他に所管の関係幹部や三重県選出の国会議員の方々にも面談し要望活動をして参りました。以上、最近の活動についての行政報告とします。

# ここが聞きたい 一般質問



2月7日に子ども模擬議会が開催されました。小学校6年生児童を対象に木曾岬町の議会を体験していただくことと毎年開催され、今年で7回目となります。子どもたちが議員となり町政に対して質問されましたので、その時の質問・答弁を要約して掲載しました。



## 質問 自然災害における避難場所について

私は授業でさまざまな災害について学んできました。特に地震については、津波の怖さを東日本大震災を通じて知りました。

からの避難場所の設置について計画や対策があれば教えてください。

## 答弁 総務企画課長

「東海・東南海・南海地震」の三連動による、地震が発生した時の浸水予想でも、浸水が起らない高さの建物を、津波のための一時避難所として、小学校・中学校と民間企業の建物5ヶ所を指定しております。

しかし、全町民を全て受け入れる建物ではないので、高く盛土をして作られる河川防災ステーションに避難所にもなる水防センターの建物や、役場庁舎を含む、複合型施設に避難所機能を備えたホールなどの建物の建設が、今、計画中であります。そして、将来的には北部や南部の公共施設（公

民館や保育園・幼稚園施設など）に避難所を兼用としての機能を強化していく計画を今後、考えていきたい。また、町内で避難が危険な場合を想定し、町外に避難することも考えた「広域避難」をどのようにしていくのか、計画づくりを行っています。

## 質問 ついつい幼稚園跡地に

昔の幼稚園があつたところがあります。今は幼稚園がないのですが、その後跡地に何ができるのか、どんなことに利用されるのか計画があれば教えてください。

## 答弁 総務企画課長

旧幼稚園が、栄団地にあることから、教育施設としての環境を改善するため、移転予定地として、体育館南側の土地を購入しました。その後、幼児教育の環境変化に対応した幼稚園と保育園を一体化した園となりましたので、旧幼稚園は、老朽化により平成20年に解体し、その跡地は売却する計画としています。

なお、体育館南側の土地は、幼稚園の移転計画がなくなりましてので、学校行事や町の行事などの駐車場としての活用も含め、今後は具体的な活用方法を考えていきたいと思っております。



## 質問 西対海地 ガソリンスタンドの信号機設置について

いつも私たちは分団で通学しています。学校の近くにあるガソリンスタンド付近をいつも通学路で利用しています。しかし、あそこは朝、交通量も多く、また多くの分団が利用しています。

そこで安全に通学できるように交差点に信号機を設置するなど、安全面に関する計画や対策があれば、教えてください。

## 答弁 産業建設課長

これまでも交通安全対策は、計画的に歩道の整備や防護柵を作ってきましたが、全国で下校時の児童生徒が巻き込まれる悲惨な交通事故が起きたことから緊急対策として危険個所のパトロールを実施し、止まれや横断歩道を設置して運転者に注意を促しました。

J Aガソリンスタンドの前は、PTAからも危険なことが指摘され、町の担当者や桑名警察署で現地を調査しましたが、道路の幅が狭いことや交通量が少ないこと、横断歩道があることから信号機は実現していません。

この付近の対策には、道路に白線を引いて歩行者と車の走る場所を区分し、注意看板を付けました。また、「交通安全協会木曾岬支部」の皆さんは、人員が確保できれば、毎月の街頭指導をJ Aスタンド前でも行うことを検討していただいています。

## 質問 C52N 教室の暗幕に

木曾岬小学校は桑名市の小学校には少ない、大型テレビの電子黒板があり、とても充実した環境の中で勉強ができています。これからもICT機器を活用して勉強していきたいです。

## 答弁 教育課長

教室の前側にある暗幕は、テレビ画面に直接的に太陽光があたらないための手段として、利用されています。現在、学校に配置しているデジタルテレビは、電子黒板としてタッチパネルでの利用も考えられることから、プラズマ画面を採用しており液晶画面と比較すると光の反射は多いといえます。

こうした点を踏まえ、電子黒板は固定ではなく可動式になっていくので、授業の際に座っている場所によって見えにくい場合は、先生に伝え、電子黒板の位置や角度を変えていただくか、皆さんで譲り合ってください。

教室の前側にある暗幕は、テレビ画面に直接的に太陽光があたらないための手段として、利用されています。現在、学校に配置しているデジタルテレビは、電子黒板としてタッチパネルでの利用も考えられることから、プラズマ画面を採用しており液晶画面と比較すると光の反射は多いといえます。



**質問**  
通学路でのごみと  
堤防のごみについて

私たちは学校への登下校時徒歩通学をしています。時々通学路でごみを燃やしている人を見かけます。また、堤防や堤防のグラウンドを通りかかるとゴミが多いのが気になります。これらのごみで町が何か対策をしていることはありますか。

**答弁**  
住民課長

ごみなどの廃棄物を燃やすことは国の法律により、特別な場合を除き、禁じられていますので、この様な行為の連絡をいただいた場合には、直ちに確認し直接注意するだけではなく、悪質な場合には警察署や消防署の方々と一緒に指導を行っております。

このように、町では住民の皆さんと一緒に清掃活動に取り組んだり、ゴミなどが収集場所以外に捨てられないように見回ったり、公園や皆さんが利用する施設をきれいにすることなどに努めております。

また、町広報紙やHPでお知らせしたり看板などを設けるなど、環境を改善することを広く呼びかけ周知しております。



**質問**  
学校給食について

いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。低学年の頃はご飯をもつて登下校していましたが、今は温かいご飯が用意されているので本当に良かったと思います。また、地元で作ったトマトやメロンそして海苔もいつも楽しみにしています。

6年生になり、成長期にさしかかり食欲が増してきました。時々味が薄いな、量が少ないなと感じる時があります。数年前から給食費が安くなったと聞いています。給食費の減額は給食費の質に影響しているのでしょうか。教えてください。

**答弁**  
教育課長

給食費の減額は、平成24年4月に幼稚園・小学校・中学校共に給食費が500円引き下げられ、小学校では、月額3,700円を3,200円に変更させていただきました。

「給食費の減額により、質や量に影響するのでは」とのことですが、給食を作るための経費（費用）は、少なくともなっています。それは、減額により不足する金額については、町費としてこれまで1人月100円の負担をしていたところを、600円に引き上げて負担していることによりです。

なお、給食の献立については、必要とするカロリヤ食のバランスにより、毎月、給食献立検討会の中で、話し合いを行っておりますが、味が薄いか、量が少ないと感じた時は、先生を通じて「児童の声」として知らせてください。



**質問**  
メガソーラーの  
役割について

新聞でメガソーラーが木曾岬干拓に作られることを知りました。日本一のメガソーラーになると書いてありました。新聞を読むと私たちの生活に大いに役立ちそうに思います。具体的にどんな良いところがあるのか教えてください。

**答弁**  
総務企画課長

メガソーラーはクリーンなエネルギーですので、環境にも優しく、また、この事業によって、施設建設や事業運営に携わる方の雇用もはかれますし、県内で生産される部材や製品を積極的に使ったことにより、地域への経済的な波及もあります。そして、固定資産税や法

人事業税などの地方税の税収も見込まれますことから、それ相当の税金が入ってきます。

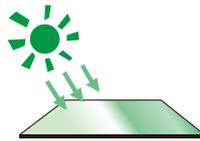
また、この度のメガソーラー運営事業には、事業者から地域貢献策の提案も出されており、発電によってもたらされた利益の一部を地元の産業振興とか環境学習教育に役立てようとする提案もいただいています。

ができません。この地域に街灯を付ける計画がありますか。教えてください。

**答弁**  
総務企画課長

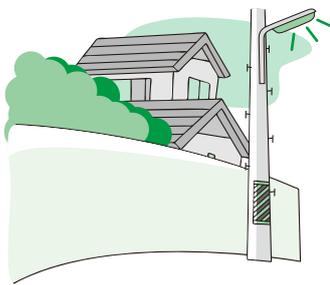
街路灯は、町内の暗く歩きにくい危険な場所や、暗くて犯罪が起こりやすい場所を重点に設置しており、現在は約770ヶ所の街路灯が町内に設置してあります。

街路灯は、主に電柱に追加して設置しており、間隔が約100mおきに一箇所の割合となっており、現在、新たに街路灯を設置する計画はもっていませんが、現地を確認させていただき、必要となれば地元地区の方々と相談させていただきます。



**質問**  
町内の街灯について

冬になり、日が短くなってきたので、習い事の帰りや友達の家から帰るときはもうすでに真っ暗です。特に田代、脇付、見入、南栄の用水路沿いは街灯も少なく日が暮れてから通ると真っ暗になってしまいます。また、これから中学生になるとクラブ活動もあり、帰りが遅くなるときもあると思います。そんなとき街灯があれば、もっと安全に家に帰ることもでき、さらに部活動にも長時間励むこと



# 議会日誌

## 2013 1月

- 22日 ● 例月出納検査
- 24日 ● 夢とふれあい教育基金運営委員会に伊藤(律)教育民生委員長出席
- 29日 ● ごみリサイクル等推進協議会に議長出席
- 31日 ● 地域公共交通会議に伊藤(民)、伊藤(律)両委員長出席

## 2013 2月

- 3日 ● 第6回美し国三重市町対抗駅伝出場に伴う壮行会に議員多数出席
- 7日 ● 子ども議会に議員多数傍聴
  - 「伸びゆく木曾岬町のふれあい広場」実行委員会に副議長出席
  - 国民健康保険運営協議会に伊藤(律)教育民生委員長出席
- 8日 ● 桑名・員弁広域連合臨時会、桑名広域清掃事業組合定例会(桑名市)に議長出席
- 12日 ● 国および国会議員等へ河川防災対策について要望(東京)に議長同行
- 13日 ● 複合型施設建設委員会に伊藤(律)議員、三輪議員出席
  - 例月出納検査
- 15日 ● 三重県町村議会議長会理事会(津市)に議長出席
  - 観光協会総会に伊藤(民)総務建設委員長出席
- 17日 ● 第6回美し国三重市町対抗駅伝大会(津市・伊勢市)に議員多数応援
- 18日 ● 消防事務連絡協議会(桑名市)に議長、伊藤(民)総務建設委員長出席
  - 桑名・員弁広域連合定例会(桑名市)に議長出席
- 21日 ● 公営企業・下水道運営委員会に伊藤(正)議員出席
- 22日 ● 議会全員協議会
- 28日 ● 議会運営委員会

## 2013 3月

- 1日 ● 消防委員会に伊藤(民)議員、三輪議員出席
- 5日 ● 平成25年第1回定例会(初日)
- 5～6日 ● 議案説明会
- 8日 ● 木曾川源緑排水機樋管改築工事完成式典に議員多数出席
  - 中学校卒業式に正・副議長、伊藤(律)教育民生委員長出席
- 11日 ● 教育民生常任委員会
- 12日 ● 総務建設常任委員会
- 13日 ● 例月出納検査
- 15日 ● 平成25年第1回定例会(一般質問日)
  - 議会運営委員会
- 18日 ● 小学校卒業式に正・副議長、伊藤(律)教育民生委員長出席
- 19日 ● 平成25年第1回定例会(最終日)
  - 行政視察
  - 複合型施設建設委員会に伊藤(律)議員、三輪議員出席
- 20日 ● 「伸びゆく木曾岬町のふれあい広場」に議員多数参加
- 22日 ● 幼稚園、保育園修了証書授与式に議員多数出席
- 25日 ● 議会全員協議会
  - 桑名広域清掃例月出納検査(桑名市)に議長出席
  - ごみリサイクル等推進協議会に議長出席
- 26日 ● 土地開発公社役員会に関係議員出席
  - 環境審議会に花井議員出席
- 27日 ● 社会福祉協議会評議員会に副議長出席

## 2013 4月

- 6日 ● 体育協会総会に議長出席
- 7日 ● 第25回桜まつりに議員多数参加
- 8日 ● 小・中学校入学式に正・副議長、伊藤(律)教育民生委員長出席
- 9日 ● 幼稚園入園式、保育園進級式に議員多数出席
- 10日 ● 議会広報常任委員会
- 12日 ● 例月出納検査
- 14日 ● きそさきAZクラブ総会に議長、伊藤(律)教育民生委員長出席
- 15日 ● 議会広報常任委員会

みなさまの  
ご意見を  
募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、何でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会(議会事務局)

TEL68-6108



## 行政視察を実施

3月19日、木曾岬町議会第1回定例会の閉会後に、行政視察を実施しました。  
主な視察先は、次のとおりです。

### ①加路戸排水機樋管部堤防補強工事

木曾川堤防高潮対策事業の一環として施工される、堤防高上げ工事および、地盤改良工事であり事業内容などを国土交通省より説明を受けました。なお、工事は平成26年2月完了予定です。



### ②河川防災ステーション施行予定地

国土交通省の河川事業による防災設備の整備と、町で施行する水防センターの整備予定地の現地確認をしました。この事業は平成25年度～27年度までの3ヶ年計画の予定であります。



### ③野外体験広場「わんぱく原っぱ」整備状況

木曾岬干拓地の土地利用計画により、平成25年度開園に向け整備が進められていることから、整備状況を視察しました。なお、この広場面積は約37.7haです。



## 編集後記

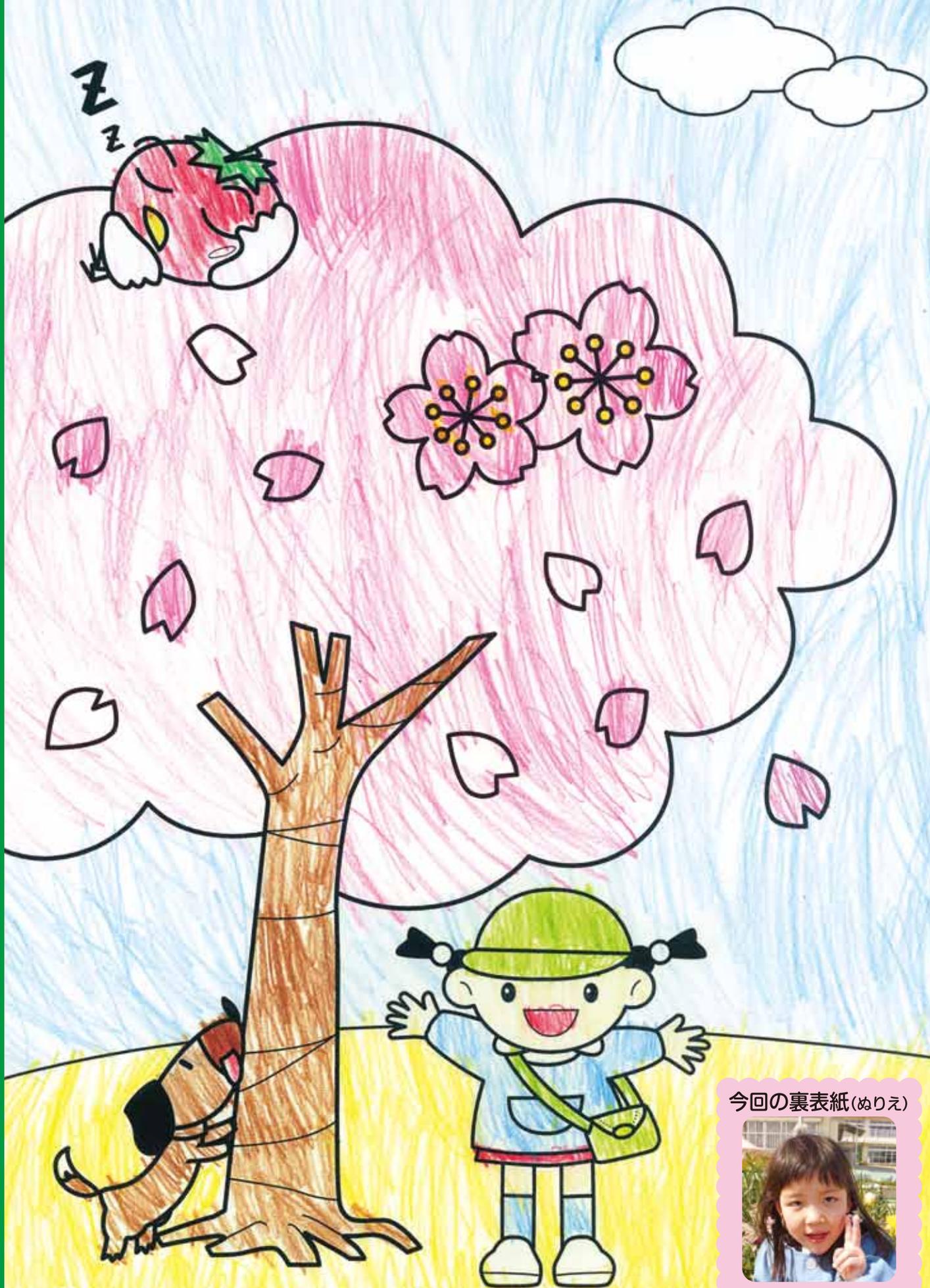
今年も町の木「桜」が、鍋田川堤沿いに咲き誇りました。例年よりも開花が早く、4月7日に開催された「さくらまつり」には、散り始め寂しさを感じられましたが、まつり会場では町民の方々による出演・出店があり、大勢の方々に参加頂きました。特に「木曾岬音頭・木曾岬小唄」では、若者の参加が見られ町民の輪が更に深まってきたような感じがいたしました。

今年度は、町長および町議会議員の改選期であります。

この4年間「議会だより」をご愛読ありがとうございました。新議会に乞うご期待を願ひまして、ここに第75号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





今回の裏表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園  
しのはら めいさん  
の作品